

研究成果

アンティーク着物 円阿弥
スタッフ 高嶋奈緒美 (旧姓 樋口)
教育学部生涯教育課程卒業(平成17年3月)



大学では、生涯教育課程生涯教育コースを専攻した高嶋奈緒美さん。学舎では幅が広い分野を学んだが、特に卒業した現在も印象が残る授業は、研究室主催による美術展の企画・運営体験だったとか。いまでも、よく美術館に足を運ぶという彼女が、アンティーク着物に興味をもったのは、西洋美術史のジャポニズムを学習したことに起因する。

「いまの若い人たちが昔のきもの色や柄を見て、『何、これ!?!』ってときめくのは、きっとジャポニズムに出会った外国人も同じ気持ちだったのかもしれないね」と、きらきらした眼を輝かせて語る。

大学2年からアンティーク着物を扱うこの店で展示会のたびに手伝うようになり、ますますアンティーク着物にのめり込んだ。

「何回見てもあきないんですよ。きれいだなあ、いいなあ

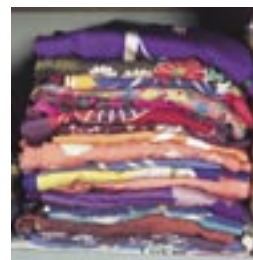
学生時代に育んだチャレンジ精神。
あなたも、夢の種を飛ばしてみませんか。

って。そのうち自分で着物を着るようになって、新しい自分を発見するような気がして…。そういう楽しみをいろんな人に体験していただきたいですね」

いままであまり夢をもたなかった奈緒美さんが、卒業後、この店に就職したことで、自分でアンティーク着物屋をもつという目標をもつようになった。ちょっと着物を着てみたいという若い人が、おこづかいで買えるアンティーク着物。だからこそ気軽に着ることができるし、着物を通して、いろんな人と喜びをわかちあえるからだ。

「大学時代だからこそ、いろんなことにチャレンジすることが大切だと思いますね。私も小さな挑戦から、かけがえない自分の夢を見つけました」

この山形で育んだ夢の種。さて、真摯な眼差しは、これからどんな芽吹く季節を迎えるのだろうか。



成